

# 「語りもんそ」

Vol.41 平成28年 6月30日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業  
♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪  
**カフェ ミニコンサート**

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団  
アーティストバンク登録アーティスト  
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ”

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●4月24日(日)は、堂園さおりさん(クラリネット)と田中美幸さん(ピアノ)のお二人で、ベールマン作曲“アダージョ”、ドヴォルザーク作曲“ユモレスク”、デスモンド作曲“テイク・ファイヴ”、J.レノン&P.マッカートニー作曲“イエスタディ”、ボス・スキヤッグス作曲“ウィアー・オール・アローン”、角野寿和&青葉紘季作曲“365日の紙飛行機”、ポーランド民謡“クラリネットポルカ”など7曲とアンコールに池田綾子作曲“明日への手紙”が演奏されました。



堂園さおりさん(クラリネット) 田中美幸さん(ピアノ)

## ○お客様に感想をお聞きしました

・内山美空さん 鹿児島市  
「ピアノとクラリネットのピッチがあっていてとて

も良かった。特に“クラリネットポルカ”は、何かはじけるような曲調で体が弾みとても印象的だった。また聴きたいです」

・川口弥美さん 鹿児島市  
「クラリネットとピアノの音色がとてもきれいで、クラリネットの音の強弱のつけ方がすごかった。優しく柔らかい音色が印象に残りました」



出演者と内山美空さん(中央左) 川口弥美さん(中央右)

●5月29日(日)は、中夷雲母さん(フルート)と高原梓さん(ピアノ)のお二人で、『ふるさと四季』より季節の童謡メドレー“こいのぼり”“茶摘み”“夏は来ぬ”、久石譲作曲『となりのトトロ』より“さんぼ”“となりのトトロ”、イギリス民謡“グリーンスリーブス”、L.ハーライン作曲“星に願いを”、G.フォーレ作曲“シチリアーノ”、H.シュテックメスト作曲“「歌の翼」による幻想曲”、N.パガニーニ作曲“カプリス第24番”、E.エルガー作曲“愛の挨拶”、P.I.チャイコフスキー作曲“花のワルツ”とアンコールに菅野よう子作曲“花は咲く”が演奏されました。

お客様から「お二人の息の合った演奏がとても心地よく、間近で大好きな曲の生演奏が聴けてよかった」などの感想をお聞きすることができました。



高原梓さん(ピアノ) 中夷雲母さん(フルート)

●6月26日(日)は、桐めぐみ・濱田貴志ギターデュオのお二人で、スペイン民謡“禁じられた遊び”、S.スティーブンス作曲“フラメンコ・ア・ゴゴ”、B.ハワード作曲“Fly me to the moon”、G.シャイドラー作曲“ソナタ 二長調より”、F.タレガ作曲“アルハンブラの思い出”、すぎやま こういち作曲“序曲”、S.マイヤーズ作曲“カヴァティーナ”、P.ベリナティ作曲“ジョンゴ”、J.ロドリゴ作曲“アランフェス協奏曲より”など9曲とアンコールにゴンチチ作曲“放課後の音楽室”が演奏されました。



濱田貴志さん(左) 桐めぐみさん(右)

## 宝山プレゼンツ

### 下野竜也×広島ウインドオーケストラ

#### 鹿児島公演

4月30日(土) 宝山ホール

鹿児島市出身の指揮者下野竜也さんが音楽監督を務める広島ウインドオーケストラの公演は、  
バーズ：アルヴァマー序曲  
C.ウィリアムズ：交響的舞曲第3番「フィエスタ」  
兼田 敏：交響的音頭  
チャンス：呪文と踊り  
A.リード：アルメニアン・ダンス全曲  
が演奏され鹿児島の音楽ファンを魅了しました。



“マラカス”に似た音を出して演奏に参加するお客様

### 〇お客様に感想をお聞きしました

- ・楠元里歩さん(龍桜高等学校 吹奏楽部部長)  
「プログラムのテーマが“ダンス”ということで吹奏楽の持ち味を生かした多くの名曲を聴くことができました。アルメニアン・ダンスIは私達も演奏したことがあるため大変勉強になりました」
- ・辻佳生絵さん(龍桜高等学校 吹奏楽部副部長)  
「“踊り”をテーマとした曲で構成されていて踊りの情景が浮かぶような演奏でした。お客さんもプログラムをマラカス代わりに振って演奏に参加したりしてとても楽しかったです。一流の方の演奏を聴くことができ良かったです！」



楠元里歩さん

辻 佳生絵さん

## 2016年度全日本吹奏楽コンクール課題曲セミナー & 指揮法講習会・楽器クリニック

5月1日(日) 宝山ホール

指揮者下野竜也氏を講師に音作り等の実践的手法を聴講できる講習会や、広島ウインドオーケストラ団員を講師に課題曲楽器クリニックがありました。

### ○受講者に感想をお聞きしました

・小川麻澄さん(神村学園高等学校 吹奏楽部部長)  
「パーカッションを担当している自分の演奏とプロの方の演奏の違いを直接聞いて直接叩いてもらって自分の課題が見つかりました。

課題曲の中で自分がうまく演奏できないところを直すことができました。 目指すは全国大会で金！」

・磯脇彩華さん(神村学園高等学校 吹奏楽部副部長)  
「プロの方の音を間近で聴いて自分との音色の違いや、プレスコントロールの違いが分かり、またそれに対するアドバイスを詳しく聞けて良かった」



小川麻澄さん 磯脇彩華さん 木元清夏さん 中園史紀さん

平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

## 県庁ロビーコンサート

～お昼のひとときにさわやかな音楽を～

5月13日(金) 鹿児島県庁舎 2階 県民ホール

演奏は(公財)鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティストの福富貴子さん(ソプラノ)、又吉秀和さん(バリトン)、宮園智帆さん(ピアノ)で、アレッシンドロ・スカララッティ作曲“すみれ”、シューベルト作曲“シルヴィアに寄せて”、モーツァルト作曲“ドン・ジョバンニより「君の手をとり」”、モーツァルト作曲“魔笛より「愛を知る男には」”、新井満作曲“千の風になって”、久石穰作

曲“「坂の上の雲」主題歌 Stand Alone”、R.ロジャース作曲“サウンド・オブ・ミュージックメドレー”、角野寿和・青葉紘季作曲“365日の紙飛行機”が演奏され、会場を訪れた多くのお客様はお昼のひとときを心地よい音楽で過ごされました。



鹿児島県庁舎2階 県民ホール



宮園智帆さん(ピアノ) 福富貴子さん(ソプラノ) 又吉秀和さん(バリトン)

### ○お客様に感想をお聞きしました

・山田和子さん 鹿児島市  
「ソプラノとバリトンとの二重唱、歌劇を2曲聴きました。こんな間近で歌っておられるのを聴くのは初めてで、感情をこめた歌声は言葉の意味がよくわからなくても思わず引き付けられました。

曲の説明をされてから歌う曲もあり、又、話の中に笑いもあり40分という時間が短く感じるお昼のひとときでした。ラストの曲、NHK連続テレビ小説の主題歌“365日の紙飛行機”を出演者と観客と一緒に歌ってとても楽しいコンサートでした。次もぜひ来たいと思います。ありがとうございました」

宝山プレゼンツ

ちびっ子集まれ!

クラシックっていいな～

## ファミリーコンサート

5月28日(土) 宝山ホール

「子どもと一緒に音楽を楽しみたい」という家族のご要望にお応えした0歳児から入場できるファミリーコンサート。演奏は（公財）鹿児島県文化振興財団のアーティストバンク登録アーティストを中心に編成された“宝山室内アンサンブル”と歌のお姉さん・お兄さん。

第1ステージは“あいうえおんがく”から始まり、“さんぼ”の曲で演奏楽器の紹介があり、“モーツァルトメドレー”、“夏の思い出”、“我は海の子”、“交響曲第9番「新世界より」第2楽章・第4楽章”が演奏されました。

休憩中は1階ホワイエで鹿児島実業高等学校吹奏楽部の楽しい演奏がありました。

第2ステージは、“スターウォーズ”で始まり“カレーライスのうた”、“365日の紙飛行機”、“さあ行け！ニンニンジャー”・“「動物戦隊ジュウオウジャー」メドレー”、“Dokkin◇魔法使いプリキュア”、“ディズニーメドレー”を歌のお姉さんの福富貴子さん、歌のお兄さんの又吉秀和さんとともに大きな声で歌い、ホールは元気な子どもたちで盛り上がりました。



宝山室内アンサンブル

●今回は、開場前と休憩時間に鹿児島実業高等学校吹奏楽部による演奏がありました。



開場前のマーチング

●演奏者の感想をお聞きしました

・徳永有里さん（鹿児島実業高等学校吹奏楽部 部長）  
「子どもたちの笑顔に勇気をもらい楽しい演奏ができました」

・神門夏紀さん（鹿児島実業高等学校吹奏楽部 2年）  
「曲に合わせて子どもたちも一緒に歌って自分たちの演奏に笑顔で参加しているのを間近で見ることができとても嬉しかった」



徳永有里さん（左） 神門夏紀さん（右）



演奏して下さった鹿児島実業高等学校吹奏楽部のみなさん

## 〇お客様に感想をお聞きしました

・吉村 恵さん 鹿児島市  
「子どもたちが親しみやすい選曲だったので、終始楽しく歌ったりリズムをとったりしていました。宝山室内アンサンブルの迫力ある演奏と鹿実の素晴らしいパフォーマンスで音楽を体いっぱいと感じることができた公演でした」



歩実さん（7才） 佳祐くん（4才） 吉村 恵さん

宝山ホール広報ボランティア 『語りもんそ』編集部  
〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール  
電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503  
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行